

令和7年度 特別活動全体計画

江戸川区立西葛西中学校

校長名 川崎 純一

学校の教育目標	○心身ともに健康でたくましくがんばり抜く生徒 ○よく学び考えて実践する生徒 ○規律を守り責任を果す生徒 ○思いやりがあり社会に貢献できる生徒
特別活動の目標	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。
目指す生徒像	○自信・やる気・確かな自我を育て、自己・そして他者への思いやりを持てる生徒 ○よりよい学校生活の実現に向け、意欲と行動力のある生徒 ○集団や社会の一員としての守るべきルールやマナーを身に付けた生徒 ○望ましい勤労観・職業観、将来への希望がもてる生徒
特別活動の重点目標	○集団の一員としての自覚を深め、より良い学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を養う。(基本的生活習慣「あ・じ・み・こ・し」の徹底) ○第1学年では自己理解、第2学年では自己形成、第3学年では自己実現へ向けて継続的に発達段階に応じた指導を行う。(ガイダンス機能の充実) ○生徒会活動や学校行事を通して、生徒の自主的活動による自治能力を高める機会を持ち、協力・奉仕の精神を養う。(生徒の自治能力の強化)

		学級活動	生徒会活動	学校行事
目標		望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
指導の方針		○学級の役割を全員で分担し学級の中での自己実現ができ、存在感や仲間意識を高めるようにする。 ○学級における人間的なつながりを深め、温かい友情を育てる。 ○リーダーや学級の一員としての自覚を高める。 ○将来の生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。	○学校の実態を見つめ、生徒会組織や活動の改善を図り、全生徒の意見や質問が十分に反映できるようにする。 ○生徒会活動全体のバランスがとれた計画を立案し、実践的活動を展開させる。 ○一人ひとりの自覚を通して自主的な態度や実践力を身につけ、協力し合う態度を育てる。	○学校生活の中で望ましい刺激を与える集団生活により、日常の学習成果を総合的に発展させ、充実した学校生活にする。 ○学校行事の中で、生徒の一員としての自覚を持たせ、感動的な体験を味わわせることによって人間としての在り方を学ばせる。
主な指導内容		(1) 学級や学校の生活づくり 学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理、学校における多様な集団の生活の向上 (2) 適応と成長及び健康安全 思春期の不安や悩みとその解決、社会の一員としての自覚と責任、男女相互の理解と協力、望ましい人間関係の確立、ボランティア活動の意義の理解と参加、心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成、性的な発達への対応、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成 (3) 学業と進路 学ぶことと働くことの意義の理解、自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用、進路適性の吟味と進路情報の活用、望ましい勤労観・職業観の形成、主体的な進路の選択と将来設計	(1) 生徒会の計画や運営 生徒総会、生徒会役員選挙、生徒会インフォメーションの発行、本校生徒会活動の紹介 (2) 異年齢集団による交流 新入生を迎える会、全校合唱コンクール、新入生説明会、学校説明会 (3) 生徒の諸活動についての連絡調整 各種委員会による活動 (4) 学校行事への協力 運動会、学芸発表会、合唱コンクールへの協力 (5) ボランティア活動などの社会参加 生徒会による地域・校内外美化活動	(1) 儀式的行事 入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、離任式 (2) 文化的行事 学芸発表会、合唱コンクール (3) 健康安全・体育的行事 健康診断、薬物乱用防止教室、防犯教室、交通安全指導、避難訓練、防災訓練、運動会、球技大会 (4) 旅行・集団宿泊的行事 遠足、修学旅行、林間学校 (5) 勤労生産・奉仕的行事 職場体験、上級学校や職場の訪問・見学、全校美化活動、地域社会への協力や校内外ボランティア活動
他の教育活動との関連	各教科	○学級活動における話し合い活動、言語等による表現や発表が重要である。また、活動の企画・立案を行ったり、調査を行ったりする。 ○話し合い活動、発表での表現 ○調査した内容をまとめる能力	○生徒会活動における話し合い活動、言語等による表現や発表などが重要である。また、活動の企画・立案を行ったり、調査を行ったりする。 ○普段の授業で生徒と教師の人間関係をよりよく築いていくことで、活動を円滑に運営する。	○舞台発表においては、国語科・英語科との関連を図る。 ○作品発表会については、美術科・技術科・家庭科などの学習と関連を図る。 ○運動会については、保健体育科の学習成果の発表としての視点を明確にする。 ○合唱コンクールについては、音楽科との関連を重視す
	特別の教科 道徳	○節度ある生活の形成 ○より良い人間関係の構築 ○目標を定めて努力する心 ○自身を持ち可能性を広げる積極的な姿勢 ○協力、奉仕の心	○集団に所属して生まれる連帯感 ○異年齢間における交流 ○自発的、自治的な生徒会活動 ○学校の伝統を受け継ぐ心	○社会体験や自然とのふれあい ○文化や芸術に親しむ体験 ○郷土愛 ○公徳心 ○集団構成員としての自覚
	総合的な学習の時間	○学級活動で育成する集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度と、総合的な学習の時間で育成するよりよく問題を解決する資質や能力を相互に役立たせるようにする。 ○自ら進んで学ぶ姿勢 ○学んだことを集団に還元するための創意工夫	○生徒会による諸活動を実践することを通して、自分とのかかわりを視点とした問題発見能力、課題解決能力などを育成するとともに、これらを総合的な学習の時間の諸活動に役立てるようにする。 ○CO2削減や省エネ、リサイクルの推進	○総合的な学習の時間の趣旨を踏まえ、社会とのかかわりを考える学習活動として行われる職場体験活動とボランティア活動を勤労生産・奉仕的行事の実施に替える。 ○宿泊行事、遠足での事前・事後学習で興味関心のある分野をより深く調査し、まとめる。 ○自然体験や社会体験によって環境や自然を課題とした問題の解決を探る。 ○ボランティア活動や地域での体験活動によって社会とのかかわりを考える。
家庭や地域との連携		○生徒は、学級や学校の一員として学校生活を送るとともに、家庭や地域の一員として生活しているため、学級活動の指導においては、家庭や地域等との連携・協力が重要な意味をもっていることから、家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。 ○学校公開を通して、生徒の活動を見ていただき、教育活動への理解を求める。 ○(3)の指導においては、地域人材の活用を図り、関係機関等の専門家などから話を聞くなどの活動を工夫していく。	○交通安全や防災訓練、ボランティア活動の推進 ○必要に応じて、校内の活動だけでなく、他校との相互交流を図ったり、地域社会との連携を深めたりするなど、校外での活動への広がりを図るようにするために、家庭や地域との連携を深め、その教育力の活用を図ったり、地域の自然や文化・伝統を生かしたり、社会教育施設等を活用した教育活動を工夫していく。	○家庭や地域の人々との連携を深め、その教育力の活用を図ったり、地域の自然や文化、伝統を生かしたり、社会教育施設等を活用したりする活動が展開できるよう工夫する。
備考				